

# 平成27年9月関東・東北豪雨と茨城県の取組

茨城県生活環境部防災・危機管理課

## 被害の状況

この度の平成27年9月関東・東北豪雨による災害により、被害に遭われました方に心よりお見舞い申し上げます。

茨城県では、本年9月7日から8日にかけて、太平洋沿岸に停滞する前線の影響、9日は台風第18号の影響、10日は台風第18号から変わった低気圧に向かって湿った空気が流れ込んだ影響により、県南部を中心に記録的な大雨となりました。

この大雨により、10日の午前7時45分には本県で初となる大雨特別警報が県内全域に発表され、国、県、市がそれぞれ管理する計52河川、221箇所で決壊等の被害が発生しました。特に洪水予報河川である鬼怒川でも越水や決壊が発生し、鬼怒川の東側の約40km<sup>2</sup>で浸水被害が生まれました。

本県では、3名の方がお亡くなりになったほか、全壊51棟、大規模半壊1,112棟、



常総市三坂町の決壊現場付近②

半壊2,964棟、床上浸水76棟、床下浸水2,953棟(平成27年11月16日現在)の住家被害が生じました。また、避難勧告や避難指示が多くの市町村で発令され、ピーク時には、35市町村299の避難所に計10,390の方が避難されました。11月16日現在でもなお、自宅が浸水するなどした住民約200の方が避難所生活を送っております。



常総市三坂町の決壊現場付近①

## 救助の状況

今回の水害では、陸・海・空の自衛隊や海上保安庁、広域緊急援助隊などの警察機関や緊急消防援助隊などの消防機関の方にも出動いただき(9月10日～19日延べ25,033名)、ヘリコプターにより救助された方が1,339名(9月10日～12日)、地上部隊により救助された方が2,919名、合計4,258名にものぼる多くの県民の命を救っていただきました。

特に浸水により自宅に取り残されてしまった住民を救助するため、9月11日に



常総市庁舎の駐車場の浸水状況



各地から届いた支援物資

は56機、災害発生後3日間で延べ128機のヘリコプターが本県内で活動することとなりましたので、県の災害対策本部対策班の航空調整担当が救助地区のエリア分けや自衛隊、警察、海上保安庁などとの連絡調整を行いました。

## 県における災害対策本部の活動状況

県では、特別警報が出された9月10日7時45分に災害警戒本部を設置し、同日10時00分に東日本大震災以来となる災害対策本部を設置し、災害情報の収集や国や防災関係機関との調整、物資の調整などを行いました。

特に甚大な被害を受けた常総市内には、副知事を本部長とする現地災害対策本部を初めて設け、現地での情報収集や県と市との間の連絡調整、ボランティアの受入れのほか、避難所での被災者支援、市道の災害復旧支援、被災住宅の調査、公的住宅等への入居対応、災害廃棄物の収集、分別、仮置き場の確保等の業務を支援しました。

派遣した県職員は、多い日で115名、9



自衛隊撤収の様子

月12日から10月30日までの間に、延べ2,153名を派遣することになりました。

最後に、今回の平成27年9月関東・東北豪雨による災害におきまして、ご支援くださった皆様方に厚く御礼を申し上げます。

